



「けいはんな公道走行実証実験プラットフォーム（K-PEP）」の運用開始について

平成30年3月1日
（公財）関西文化学術研究都市推進機構
RDMM支援センター

関西文化学術研究都市推進機構 RDMM支援センターでは、昨年提供を開始した「けいはんな公道走行実証実験プラットフォーム（K-PEP）」の実験運用をスタートするとともに、これに伴うキックオフイベントを下記のとおり開催します。

本プラットフォームは、自動運転等の新技術を活用した安全快適な新たな交通システム等の開発を狙いとし、企業や研究機関が乗り合って、かつ自由に研究開発や実証実験が行える日本で初めての企業乗合型、住民参加型の公道走行実証実験プラットフォームで、けいはんな学研都市の施設や公道等において、安全を十分確保した上で実証実験の場を提供し、研究開発の加速支援を行うものです。

記

- 1 日時 平成30年3月27日（火）9：30～12：00
- 2 場所 けいはんなオープンイノベーションセンター（KICK）
（京都府木津川市木津川台9丁目6・相楽郡精華町精華台7丁目5－1）
- 3 主催 公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構
- 4 共催（予定） 公益社団法人 関西経済連合会、京都府
- 5 来賓（予定） （公社）関西経済連合会会長、京都府知事、大阪府知事、木津川市長、
精華町長、けいはんな R&D イノベーションコンソーシアム会長ほか
- 6 内 容

＜オープニングセレモニー＞ ※10:00～11:00

- （1）主催者あいさつ
- （2）コンソーシアム会長あいさつ
・大阪大学総長 西尾 章治郎 氏
- （3）来賓あいさつ
- （4）テープ カット
- （5）施設・設備案内及び公道実証実験概要の説明

＜同時開催＞

K-PEP を活用されている会員様のご厚意により、撮影許可を得て報道関係者の方々に実験の一部をご覧ください。ただし、雨天の場合は中止します。

- （1）施設内走行実証実験のご案内（9:30～10:00）
自動運転施設内走行実証実験
- （2）公道走行実証実験のご案内（11:30～12:00） けいはんなプラザ近辺にて
自動運転公道走行実証実験

■ご取材について：取材を希望される場合は、別紙よりお申込みください。
(申込み締切　：　平成３０年３月２０日（火）１５：００)

※事前の申込みがない場合、当日の取材はご遠慮ください

【本件に関するお問い合わせ】

(公財) 関西文化学術研究都市推進機構　広報担当:高田

R DMM支援センター担当：浅井、井上

T E L : 0774-95-6132

FAX : 0774-98-2202

e-mail : rdmm@kri.or.jp

(別紙)

2018/3/27 (火) 「けいはんな公道走行実証実験プラットフォーム

(K-PEP) 」の運用開始について 取材申込票

《申込先》

公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構
RDMM支援センター（事務局） 担当：浅井、井上
FAX0774-98-2202 / e-mail : rdmm@kri.or.jp

《日時》

日 時：平成30年3月27日（火） 9：30～12：00

場 所：けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)

京都府木津川市木津川台9丁目6／相楽郡精華町精華台7丁目5－1

取材時の注意事項：

- ・ 当日は、開始前の30分前から取材者受付を開始します（KICK正面玄関にお越しください）。
- ・ 原則として、各社記者1名、カメラ1台(助手は1名まで)でお願いします。
- ・ 自社腕章を持参ください。
- ・ 駐車場を用意しています。車でお越しの方はKICK内の案内係に従ってください。

※申込締切：3月20日(火) 15：00

所属(社名)	
取材者氏名	
連絡先(携帯電話)	
メールアドレス	
FAX	
詳細資料の事前送付	あり / なし
カメラ機材 (該当に○印)	スチール / ムービー / なし
カメラクルー (該当する場合)	(クルーの方の氏名を全員分ご記入ください)

※いただいた情報は、本取材対応のためのみに利用いたします。



未来づくりの実証実験 プラットフォーム

National Strategic Special Zones

「公道走行実証実験プラットフォーム K-PEP」 (Keihanna Public road Experimental Platform)

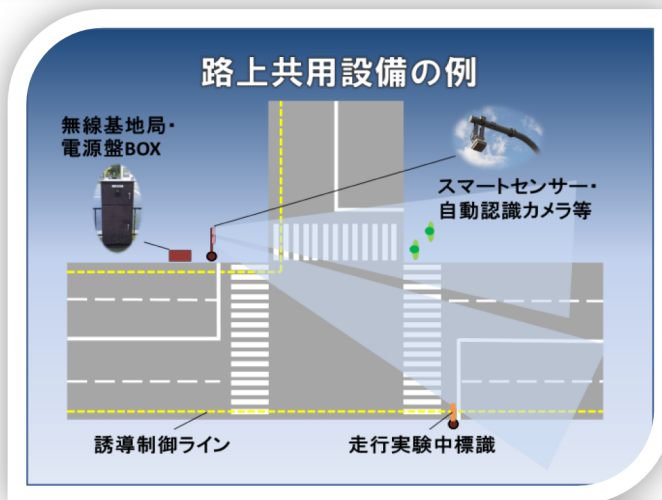


K-PEPは、自動運転等の新技術や新たな交通システムの確立に向け、けいはんな学研都市が有する様々な資産を活かした日本で初めての企業乗合型、住民参加型の公道走行実証実験プラットフォームです

- ・けいはんなR&Dイノベーションコンソーシアム会員への提供となります
- ・設備等利用にあたり実費相当の分担金が必要となります

提供予定の設備・サービス

※コンソーシアム会員様の要望により順次整備



住民サポーター組織「Clubけいはんな」

設立の趣旨: 住民目線でのご意見やクリエイティビティを研究・開発・事業化・街づくり等に反映する

けいはんな地域を中心とした住民サポーター組織
会員数 約1,000名
(2017年9月末現在)

あなたの声は、未来を創る
Club けいはんな

参加

- アンケート調査
- ワークショップ
- 実証実験

参加

豊富な未来の実現
★街づくり
★新事業／新産業創出

・新商品／新事業企画
・研究開発事業化プロジェクト
・街づくりプロジェクト 等

産業界 大学 研究機関 行政